

めざす児童像		○ 学校生活に安心感をもち、笑顔で楽しく過ごす子ども																									
時間割	1校時	13日	学活	14日	生活③	15日	国語	16日	国語	19日	国語	20日	国語	21日	国語	22日	算数	23日	算数	26日	国語	27日	国語	28日	国語	30日	国語
	2校時		生活①		生活④		音楽		体育		音楽		生活(2)		歯科検診		生活(4)		体育		算数		交通安全教室		体育		算数
	3校時		生活②		国語		体育		図工		生活(1)		学活		生活(3)		体育		図工		音楽		生活(5)		算数		生活(7)
	4校時		国語		算数		算数		図工		算数		算数		道徳		書写		図工		国語		学活		道徳		生活(8)
	5校時																										

入学前	4月	第1週	4/12入学式	第2週	4/22 1年生を迎える会	4/23 授業参観	第3週
-----	----	-----	---------	-----	---------------	-----------	-----

6年生総合 いずみ幼稚園訪問
・交流を通して、小学生や小学校に対する憧れを抱けるようにする。

情報交換
・一人一人の好きなものや頑張っていた活動、得手不得手など、様々な情報を知り、指導や支援に生かせるようにする。

来入見学校訪問
※園児を招待
・生活科の授業を参観・体験し、一緒に給食を食べる。
・園児も小学生も、入学や進級への思いを膨らませることができるように支援する。

就学時健診
・検診や知能検査の際に、「小学生はこうやってあいさつするんだよ。」など声をかけ、入学への不安を軽減し、期待を膨らませるよう支援する。

菊西フェスティバル(運動会)
※園児を招待
・園児の思いを生かした種目内容を検討する。

新入生保護者説明会
・入学までに、あるいは5月上旬までに、できるようにしておくことを伝える。
・「○○ちゃんならできるよ。」「一緒に頑張ろう。」というスタンスで接してほしい旨を保護者に伝える。
・保護者の不安感に共感し、質問等に丁寧に応じる。

生活科「なかよし会」
※園児を招待
・小学生の作ったおもちゃで園児が遊んだり、小学校生活の様子を紹介したりするなどして、入学や進級への思いをさらに膨らませることができるように支援する。

生活 「きょうから1ねんせい・わくわくどきどきしょうがっこう」(12)【残8時間は5月】

① (単元の導入) ・教科書の絵を見て、気付いたことを自由に話す。	② きょうから1ねんせい ・先生や友達と自己紹介をする。 ・これから一緒にやってみようことを考えたり話したりする。	③ がくしゅうのはじまり ・幼児期の経験を生かして、みんなで絵本や歌や制作活動を楽しむ。	④ がっこうの1にち ・生活の流れを意識した学校生活を送る中で、朝や帰りの準備、給食当番や掃除などを行う。
--------------------------------------	---	---	--

(1) (単元の導入)
・入学してからどんなことがあったかなどについて話し合う。

(2) こうていをさんぽしよう
・校庭を探検し、自分のお気に入り場所を探す。

(3) がっこうのなかをあるこう
・2年生に案内してもらいながら校内を探検する。

(4) なにをかんじたかな
・気付いたこと、もっと知りたいこと、やってみたいことを伝え合う。

(5)~(8)じぶんたちでいってみよう
・グループで、校内の施設や設備を探検する。

他教科等

★ いいてんき(国語)	★ なんていおうかな(国語)	★ うたっておどってなかよくならう(音楽)	★ 体ほぐしの運動遊び(体育)	★ 1年生になって(学活)
★ おはなしたのしいな(国語)	★ こんなものみつけたよ(国語)	★ はくをかんじとろう(音楽)	★ 固定施設を使った運動遊び(体育)	★ がっきゅうのかかりをきめよう(学活)
★ あつまってはなそう(国語)	★ うたにあわせてあいいうえお(国語)	★ すきなもののいっばい(図工)	★ みんなでたのしく(道徳)	★ ひなんのしかた(学活)
★ えんぴつとなかよし(国語)	★ 字を書く姿勢(書写)	★ ねんどとなかよし(図工)	★ あいさつでげんきに(道徳)	★ 地震が起きたら(学活)
★ どうぞよろしく(国語)	★ なかまづくりとかず(算数)	★ クレヨンやパスとなかよし(図工)	★ みなさんよろしくの会をしよう(学活)	

めざす児童像に迫る教師側の手立て

☆ 全教職員が、子どもたちの保育園や幼稚園・認定こども園等での経験やそこで得た学びを生かす声掛けを心掛ける。

☆ 児童が学級や様々な場面で安心して自分の思いを伝え、その思いを承認したり、共感、感嘆したりして自信をもたせていく。
例: 簡単なスピーチや授業中の発言、作品のアイデアなど

☆ 教師は意図的に友達と関わる場面を設け、児童同士のつながりを増やしていく。
例: 授業や休み時間、給食等の時間で、教師と児童全員で共同作業をしたり、一緒に活動したりする。
児童の誰もが、スポットを浴びるような場面を意図的に設けていく。

○○のことが知っているのですね。すごい!

知らないことがあっても大丈夫ですよ。いつでも先生に聞いてくださいね。

◇◇さんは、こう言っていますよ。△△さんは、どうしますか? いっしょにやってみませんか。

自分の意見が発表できるのはかっこいいですね。もちろん、友達と似ている意見でもいいですよ!

○○さんが教えてくれた後、☆☆さんは「ありがとう。」と言いましたね。二人ともすばらしいです。

□□さんが、発表しているとき、みんな□□さんの方を向いて一生懸命聞いていましたね。このクラスは、聞き方名人がたくさんいますね!

隣の友達と相談してみよう。グループの友達と相談してもいいですよ。

今日の昼休みは、共遊です。校庭に出て、みんなで遊びましょう。何を遊ばたいですか。

今日の生活科は、クラスみんなで協力して学校の地図を作りますよ!

学校を探検して、見つけたことや気付いたことをクラスの人に教えてください。(発表の後) **さんと同じことを見つけたお友達はいませんか。

環境

○ 分かりやすい表示(靴箱や道具箱の使い方の絵表示)

○ 全員の名前が載っている掲示物(お誕生日列車等)

○ 洋式トイレの場所を知らせる。

○ 一日の流れを絵と文字で示す。(イラスト入り日課表)

○ 教室に時間の使い方を時計の回りに表示しておく。

○ 国語や図工の作品を早めに掲示していく。(記名は教師が行ってもよい)

*** 上級生への意識付け: 自分が1年生のときに、「上級生にやってもらってうれしかったこと」や「自分の力でやってみたかったこと」を考えさせ、行動に生かす。**